

IAATO 2024-25 鳥インフルエンザ対応マニュアル

2021年以降、高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）H5N1の発生例が著しく増加しており、世界中で数十万羽の海鳥が命を落としています。アザラシやアシカなどの海洋哺乳類も影響を受けています。

2024年2月25日、南極条約の適用地域で初の鳥インフルエンザ感染例が確認されました。

南極地域では、南極条約加盟国をはじめ、科学者、国家プログラム、国際南極旅行業協会（IAATO）が、南極大陸における鳥インフルエンザの影響や、現地の野生生物に与える深刻な影響を懸念しています。

病原体や外来種から南極を守るために必要な確固たる手段の確立に努めるIAATOのメンバーは、この地域で鳥インフルエンザが確認されたことを受け、今シーズンの活動に関して厳重な警戒を続けています。

鳥インフルエンザの侵入とまん延を防ぐために、皆さまができることを以下にご紹介します。

出かける前に

自宅を出る前に、衣類や装備を含め、南極の環境に接触する可能性のあるものをすべて徹底的に洗浄、消毒してください。

- IAATOの「[Don't Pack a Pest](#)」（病原体の持ち込みを防ぐ）ガイダンスを参考にしてください。

南極大陸で：野生動物の観察

日常生活でバイオセキュリティの手順を守る、野生生物との最低限の距離を保つなど、既存のプロトコルは南極を守るために不可欠な要素です。

これらに加えて、南極では次のことをお願いします。

- 野生動物の生息地では、座ったり、ひざまずいたり、しゃがんだり、横になったりしない。

- 野生動物保護区域では地面や雪の上に携行品を置かない。

オペレーターが常に情報を提供しますので、不明な点はガイドにお尋ねください。

国際獣疫事務局の最新かつ包括的な情報はこちらをご確認ください：

<https://www.woah.org/en/disease/avian-influenza/>

南極研究科学委員会（**SCAR**）南極野生動物防疫ワーキンググループの最新情報は

こちらをご確認ください：<https://scar.org/library-data/avian-flu>